

杜の風

校長 森 薫

冬休み、何をしなくてはならないのですか？ 平等に与えられた14日間をどう過ごすかによって、これからの生き方が変わると思います。『備えあれば憂い（心配）なし』、これからの進路に向かって、学年に関係なく毛里田中生全員で頑張りましょう。みんなが頑張っていると思えば、自分も頑張れるはずです。

ONとOFFの切り替えをしっかりと行い、充実した冬休みにしましょう。

また、家の手伝いも進んで行いましょう。交通事故やコロナウイルス感染・インフルエンザには十分に注意しましょう。自分自身のためにも、問題行動はしないようにしましょう。そして、何より『命と健康』を大切にしてください。

2学期、みなさんが体育祭や合唱コンクール・学年行事・委員会・係活動・部活等に努力してくれたことに心から感謝します。みんなで頑張ってくれましたね。有難う。

令和4年1月7日、努力した元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

1. 2年生へ

2年生も1年後、1年生も2年後には受験生です。この冬休みに、今までの学習を自分のものにできるよう復習をしっかりとしておきましょう。そうすれば3学期の勉強だけでなく、3年生になったときの受検（受験）勉強も楽になると思います。

（県立・国立高校の入学者選抜は一般的に『受検』、私立高校は『受験』を使います。）

部活動や学校外の活動も目標をもって頑張ってください。毎日『今日はこれが出来るようにする』という目標を立て、努力していけば間違いなくうまくなっていきます。自分だけでなく、部全体が上達していきます。部活がない日は家で体を動かそう！

3か月後には新1年生が入学してきます。新1年生から信頼され、目標となるような先輩になれるよう準備をしてください。応援しています。

3年生へ（1. 2年生にも読んでほしいです）

『冬を制する者は、受検（受験）を制する。』と言います。この冬、この冬休みが勝負ですね。授業でやっていないことが入試に出ることはありません。

まずは年明けすぐの受験、頑張れ！全員が目標とする進路に向かって努力することを祈ります。全員が合格することを祈ります。体を壊さないよう頑張ってください。

受検（受験）に際し、いくつか自分の経験も含めアドバイスをします。

1. なかなか覚えられない、覚えるのが苦手だという人へ

人より時間がかかっても頑張ること。

私の場合は、覚えることが本当に苦手だったので、新聞広告の裏に字を沢山書いて覚えました。頭だけでなく手も使って覚えました。時間がかかり睡眠時間は少なくなりましたが、最終的に『勉強時間の多さは誰にも負けていない』という気持ちが受検への大きな自信となりました。

2. 自分だけが大変な思いをしているとは思わないこと。

実際に毛中の仲間みんなが大変な思いをしています。みんなが頑張っています。

「全然やってない」と言っている人ほど勉強をやっていると思った方がいいでしょう。個人の能力も、多くは進学先も違います。その言葉に安心していたら、自分だけが痛い思いをすることがあります。みんな10時間以上は勉強すると思います。

3. 自分自身のためにも、『トラブルを起こさない。トラブルに巻き込まれない。』

トラブルが起きそうな場所には行かない。』こと。トラブルは相手だけでなく、自分の心も傷つきます。また、問題行動があると高校に入学できなくなってしまうこともあります。十分に注意をしましょう。

4. 体調管理に十分注意すること。人込みにはできるだけ行かないよう注意しよう。

コロナやインフルエンザに感染すると、勉強・受検に影響する可能性があるため、人込みにはできるだけ行かないように注意しましょう。（私は公立高校受検の前にインフルエンザにかかってしまいました。中学校から連絡してもらい、別室で試験を受けました。まさかこんなことになるとは思いませんでした。他にも何人かいました。想定外のことが起きてもあわてずに対処しましょう。オミクロン株に要注意）

5. 最後まであきらめないこと。気持ちをしっかりと持つこと。

試験の最中もあきらめないこと、試験の結果がもしも残念な結果であったとしても、進路をあきらめないことが大切です。進路変更する場合は保護者と話し合いを。
この冬、頑張ることを。この春、努力が実ることを祈っています！

保護者の皆様へご家庭での健康観察・早期の連絡等により校内感染や休校がなかったことを深く感謝いたします。有難うございました。三学期も宜しくお願い致します。